

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
みずほ信託銀行株式会社

## 〈みずほ〉とミンカブソリューションサービシーズによる生成 AI を活用した投資信託の投資環境コメント作成等の共同実証実験開始について

株式会社みずほフィナンシャルグループ(執行役社長:木原 正裕)とみずほ信託銀行株式会社(取締役社長:笹田 賢一)は、株式会社ミンカブソリューションサービシーズ(代表取締役兼 COO:伴 将行)と連携し、生成 AI、RAG(※)、ファンドマネージャーなどの資産運用エキスパートの知見を活用した投資信託の運用報告書等の「投資環境コメント作成」や「ファクトチェック機能」の実現に向けた実証実験を開始します。

### ※RAG

RAG(Retrieval-Augmented Generation: 検索拡張生成)とは、生成 AI=大規模言語モデル(Large Language Model、以下 LLM)による生成に、学習済みデータベース以外の独自の情報を組み合わせることで、回答精度を向上させる機能。

### 1. 背景と本実証実験目的

みずほフィナンシャルグループでは、「資産運用立国実現プラン」の施策である「運用会社が運用に専念する」環境作りのサポートを推進しています。

運用会社が行っている運用以外の業務の中に、運用報告書をはじめとするレポートを作成するディスクロージャー業務があります。これはお客さまに運用状況を伝えることを目的としていますが、その中でも「投資環境コメント」は、運用会社が考えている市場動向を伝えるものであるため、システム処理による効率化が進めにくい業務領域となっています。

運用レポート等における「投資環境コメント」はお客さまの投資判断に大きな影響を与えるため、投資環境の変化に影響を与えた出来事を「タイムリー」で「分かりやすく」、特に過去の出来事の振り返りとなる内容については「正確であること」が求められています。このような性質上、現在、運用会社において多くのリソースが割かれており、〈みずほ〉として「運用会社が運用に専念する」ために解決すべき課題と認識しました。

加えて、令和6年度の金融商品取引法の改正において、投資運用業のミドル・バックオフィス業務を受託する事業者(「投資運用関係業務受託業」)の登録制度が定められ、投資信託にかかるデータの利活用の中でも各種レポート作成等のディスクロージャー業務のアウトソースが増えることも踏まえ、今般、ミンカブソリューションサービシーズと共同で「投資環境コメント作成」および「ファクトチェック機能」の実証実験を開始します。

# NEWS RELEASE

## 2. 本実証実験の概要

今回の実証実験では、以下の機能の実現を目指します。

### 【投資環境コメントの作成】

ミンカブソリューションサービシーズが運営する国内最大級の株式情報メディア「Kabutan(株探)」のニュースデータ、運用会社が過去作成した各種ディスクロージャー、資産運用エキスパートの知見を活用した参照ベンチマークデータの処理(相場局面分類)等から成る RAG 処理(特許出願中)を活用することで、精度が高く、分かりやすい投資環境コメントを作成します。

### 【ファクトチェック機能】

正確性の維持のために投資環境コメントの堅確性向上のため、コメントの根拠となった事実(ファクト)を表示するファクトチェック機能を実装し、再鑑者の作業負担を大きく低減させると同時にコメントの信頼性を高めます。

### 【高度なカスタマイズ】

プロンプト(質問文)に、対象期間、対象市場、参照ベンチマーク、銘柄コード、参照経済指標等を指定することで、お客さまが必要としている「投資環境コメント」を高い自由度で作成することを可能にします。

## 3. 今後の方針

今後は運用報告書だけでなく、目論見書やお客さま向け説明資料など、幅広いディスクロージャー業務への展開も検討します。

〈みずほ〉は、今回の実証実験で得られた知見をもとに、ミンカブソリューションサービシーズとの連携を強化しながら、資産運用業界の幅広いニーズに対応すると共に「運用会社が運用に専念する」環境作りのサポートを推進します。

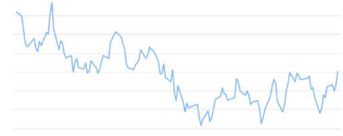
高度なカスタマイズによってお客さまの保有投資信託等にピンポイントで対応する「投資環境コメント」が作成できるため、お客さまの保有資産に応じてお望みの情報を提供することで、グループ全体でお客さま本位の業務運営の向上を目指します。

以上

# NEWS RELEASE

## 【別紙】

### サービス画像 イメージ

<p>質問 <span style="float: right;">1</span></p> <p>●●年●月から●●年●月までの●●市場の動きについて、●●と●●の観点から説明してください。</p>	<p>年 月 月(上旬、中旬、下旬) <span style="float: right;">2</span></p> <p>インデックス</p> 
<p>コメント <span style="float: right;">3</span></p> <p>●●市場は、上昇/下落しました。 ●●年●月から●●年●月にかけては、●●により上昇/下落<sup>※1</sup>したものの、その後は●●により上昇/下落<sup>※2</sup>しました。</p>	<p>引用元 <span style="float: right;">4</span></p> <p>※1 ●●●●</p> <p>※2 ●●●●</p>

#### <条件入力箇所>

##### ① プロンプト(質問文)

- ・コメント作成依頼者は、自身の市場環境認識(上昇、横ばい、下降)や作成したい投資環境コメントに関する指示や質問文等を記入。

##### ② コメントの根拠となるデータに関する条件指定

コメントを作成する際の根拠となるデータを指定。

##### ・トピック、年/月

参考とする指標(インデックス)と期間(例、●●年●月から●●年●月まで)を指定。

##### ・文章力/正確性

コメントにおける、単語と単語の関係性を指定。

この単語の次はこの単語が来る、という予測の蓋然性を変更するものであり、

コメントの印象に影響を与える。

#### <出力箇所>

##### ③ 投資環境コメント作成

①②における指定に合致したコメントを出力。

##### ④ ファクトチェック機能

投資環境コメントのもととなった事実(市場のイベントなど)の引用元を表示。ファクトをコメントと並列に示すことで、コメントの正確性の再鑑を容易に行うことが可能。